

## 活動報告

団体名	NPO 法人レスキューストックヤード
活動名	仮設住宅で心身の健康を維持し、人との繋がりが絶たれないための支援活動
活動期間	2016年5月～2016年12月
活動の成果	<p>本格的な生活再建に向けて、まずは心身の健康と安心に配慮した生活環境を整えることを重視した活動を目指しました。当法人がこれまで関わった災害の被災体験者の声を元に、狭い仮設住宅での住まい方の工夫やコミュニティ作りの大切さを伝えたり、引きこもりや生活不活発病を防ぐために、集会場・談話室が住民入居後からすぐに使えるよう、テーブルや椅子、調理用具やお茶のみセット、工具などを整備しました。また、被災者を守られるだけの存在にすることなく、一緒に参画しながら、やり方を覚え、継続して役割を得られるきっかけとなるよう、地元ボランティアらと一緒に昼食会や物づくり、足湯や陶器市などのプログラムも実施しました。特に支援が届きにくい小規模集落も含め、当法人のネットワークで繋がる全国各地の支援者から、人・物・金を通して寄せられた応援の声を届けることで、「忘れられていない、一人じゃない」という被災者の実感や、被災地外での震災への関心の風化防止の一助にも繋がっています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>生活再建は、最終的には被災された方々自らが自分の足で一步を踏み出さなければ進んでいきません。当法人が22年の災害救援活動を継続する中で、一人ひとりの生活再建を支える一番大きな力は、「人の関わり」であったということを学んできました。皆さんからお預かりした大切なお金は、この「人の関わり」を途切れさせないために必要だと考えた支援プログラムのために活用させて頂きました。遠く離れていても自分たちを気にかけてくれる人がいる、顔を見れば名前を呼んでくれる人がいる、自分にも誰かのために役に立てることがある、困った時には励まし、相談できる人がいる。それが、これからも続く長く厳しい生活再建への歩みを支えてくれる大切な拠り所になっていくと実感しています。皆さんの被災地を想う気持ちを繋ぎながら、今後も活動を継続していきます。本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

